

市政レポートは、市議会定例会の翌月（1, 4, 7, 10月）に発行しています。

二期目も是々非々で

今、足利市は競馬町跡地活用問題や公設市場の統合問題など大きなプロジェクトを抱えており、進むべき方向を誤ってしまうとあの夕張市のようにもなりかねない大変厳しい状況にあるといえます。そうしたときだからこそ、良いことは良い、良くないことは良くないと、はっきり発言し、しっかり行動できる議員が求められていると感じています。

そうした是々非々を唱える議員は多いですが、実際のところは市行政側の提案に何でも賛成していたり、逆に何でも反対しています。おりはらよしあきは、本当に市民のためになることは何なのか考え、それをこの市政レポートやホームページ等を通して市民の皆様にお伝えし、足利市が誤った方向に進まないよう、これまで同様に是々非々の立場で市政に携わっていきたいと考えています。

新会派「緑風会」結成

今春行われた市議会議員選挙の結果を受け、これまで所属していた両毛鴻志会は解散し、あらためて渋沢克博議員とともに緑風会（りよくふうかい）を結成しました。足利市議会では2名以上で会派として認められますが、最小人数での結成となりました。

緑風会という会派はかつて参議院に存在していました。是々非々を旨としていたことから、それにあやかりました。数は少ないですが、我々も是々非々を旨として頑張っていきたいと思えます。



織原 義明（おりはら よしあき） 略歴

- 1965年 足利市生まれ/西小学校、第一中学校、足利高等学校を経て
- 1989年 山形大学理学部地球科学科卒業
- 1990年 一般企業に入社 塾講師、制作、企画営業を経験
- 1996年 科技庁（現文科省）主導による地震予知研究プロジェクトに参加
理化学研究所研究員
- 2003年 足利市議会議員に初当選
- 2007年 足利市議会議員に二期目の当選、建設防災常任委員会副委員長

★ 議会一般質問できず ★

6月議会は市議会改選後に一般質問ができる最初の議会です。これまでの慣例では、改選後最初の一般質問は会派代表質問でした。しかしそれは、市長選挙が同時に行われていたときに、新市長に対する質問が集中してしまうので、会派代表質問になった経緯があります。しかし今は、市長選挙と市議会議員選挙は2年のずれがあります。代表質問にしなければならない理由が特にあるとは思えません。

議会開催前には本議会をどのように進めるかを話し合う議会運営委員会が開かれます。私はその席でこれまでとは状況が異なることに加え、「改選後最初の一般質問は新人議員も含めてすべての議員に等しく発言の機会を与えるべき」との理由で会派代表質問に反対しました。しかし多数決の結果（3対5）、私の意見は通りませんでした。

その結果、2人しかいない緑風会では会長の渋沢議員が会派を代表して質問することになり、私は質問できませんでした。

★ オープンミーティング開催 ★

去年は会派両毛鴻志会で三回のタウンミーティングを開催し、本市が抱えるさまざまな問題について、市民の皆様との直接対話を行ってきました。私はこの直接対話により市政の流れを変えることができると感じていましたので、この継続を選挙公約のひとつに掲げていました。しかし選挙の結果、両毛鴻志会は解散してしまいましたので、単独でこの直接対話を実施すべく、5月30日市民会館におきましてオープンミーティングを開催しました。

テーマを足利赤十字病院移転問題に絞った今回の会では「総事業費は200億円で本当に済むのか。」「もし移転した場合の現在地はどうなるのか。」「足利短期大学と足利赤十字病院の関係はどうなるのか。」など、さまざまな質問がありました。すべてに満足いく回答はできませんでしたが、不十分だった点は次回のオープンミーティングでお答えしたいと思います。

次回開催は8月下旬を予定しています。テーマや日時等につきましては、ホームページなどを通してお知らせいたします。



オープンミーティングの様子

★ 足利赤十字病院側に対する質問と回答 ★

一般質問は行えませんでした。6月18日に競馬場跡地活用調査特別委員会が開かれ、オープンミーティングでも質問があった事項について、日赤側から直接回答いただくことができました。おもな質問と回答は以下になります。

Q1) さくら病棟（15億円）と土地の売却先の見込みはあるのか。

A) 現状では確定していないが、土地無償貸与が決まれば積極的に動きたい。

Q2) 総事業費200億円で本当にできるのか。

A) 近年の同規模病院を参考にした額なので十分可能と考えている。

Q3) 200億円で済まなかった場合、県・市への補助金増額要望はあるのか。

A) そのような要望を行うつもりはないが、可能性がないともいえない。

Q4) 最近の経営状況はどのようになっているか。

A) 平成17年度は約7,300万円の赤字だったが、平成18年度は約6億6,600万円の黒字になった。

Q5) 全国的に医師不足が叫ばれる中、病院を新しくするだけで優秀な医師が確保できるとは考えにくい。具体的な医師確保の考えを示して欲しい。

A) 全国に92ある日赤病院の給与体系はすべて同じなので、給与の面での優遇はできない。福利厚生でのプラスアルファを考えたい。また、特に若い方にとって働きがいのある病院、魅力ある病院になるようソフト面の充実が必要と考えている。

Q6) 移転後の跡地活用の考え方を示して欲しい。

A) 移転にはまだ時間がかかり、現在における跡地活用の具体案はない。

Q7) 埋設されている取水管について、万が一の事故により水道水が汚染され、市民に被害が出た場合の責任や補償はどのように考えているのか。

A) 現時点では答えにくい。工事に際しては取水管に影響を与えないよう、さらに関連する法令を守りながら安全対策に万全を期したい。

Q8) 足利短期大学看護科との関係はどのようになるのか。

A) 場所は離れてしまうが、従来通り実習生の受け入れは行っていく。

6月25日の本会議で日赤側への土地無償貸し付けに関する議案採決が行われました。20年後は有償も含めて再度検討することや水道水などの環境面への配慮がなされたこと、さらに18年度が黒字であり、総事業費200億円でできると日赤側から直接回答いただいたことを信じて、今回この議案については賛成しました。

織原義明のおもな活動(2007年5～6月)

- 5月2日 議員総会
- 5月10日 各派幹事長会議
- 5月12日 平成19年足利市条例表彰式(市民会館)
- 5月14日 各派幹事長会議
- 5月16日 各派幹事長会議
- 5月18日 全員協議会、市議会臨時会
- 5月19日 足利市国際交流協会設立15周年記念講演会(市民会館)
- 5月26日 政治関連のオープンミーティング(大宮)
- 5月28日 全員協議会、建設防災常任協議会
- 5月30日 おりらよしあきオープンミーティング(市民会館)
- 6月1日 議会運営委員会、幹事長会議
- 6月4日 民主役の新しい公職選挙法を考える第1回シンポジウム(東京)
- 6月8日 市議会6月定例会本会議、競馬場跡地活用調査特別委員会
- 6月9日 New Education Expo 2007 in 東京
- 6月14日 市議会6月定例会本会議
- 6月15日 市議会6月定例会本会議
- 6月17日 足利いのちの電話開局20周年記念式典
- 6月18日 競馬場跡地活用調査特別委員会
- 6月19日 建設防災常任委員会
- 6月25日 議会運営委員会、市議会6月定例会本会議、議会改革推進協議会
- 6月29日 足利市防災会議

※ホームページでは、毎週の活動報告等を随時更新しています。

<http://www.watarase.ne.jp/orihara/>

★ 平成18年度 政務調査費収支報告 ★

足利市では市議会議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として議員個人に対し、年間100万円の政務調査費を交付しています。その収支報告書は、情報開示により閲覧が可能です。

平成18年度は会派によるタウンミーティング開催(3回)により、広報広聴費の占める割合が大きくなりました。

収入 ¥1,000,000 - 支出 ¥997,873 = 残額 ¥2,127 ※) ¥2,127 を市に返却

<支出内訳>

研究研修費：¥137,953	調査旅費：¥129,078	資料作成費：¥ 220
資料購入費：¥ 75,665	広報広聴費：¥521,164	人件費：¥ 16,000
事務費：¥117,793		

